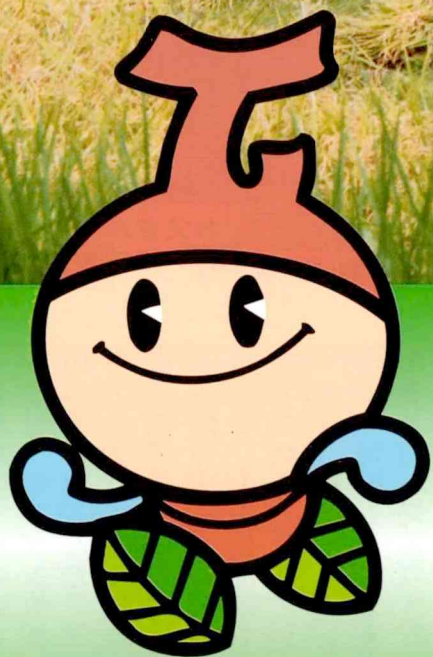




でんじろ

No 527 8月号

平成9年8月14日発行



豊かに実る稲穂
お手伝い到大忙し！

ぼく“でんじろう”です

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地1

七夕に願いをこめて

田代幼稚園



田代幼稚園の皆さんが、手作りのかわいい七夕飾りを役場ロビーに飾ってくださいました。色鮮やかな七夕飾りと、大きな夢をたくした願い事の短冊。きっと願いがかなうでしょうネ。

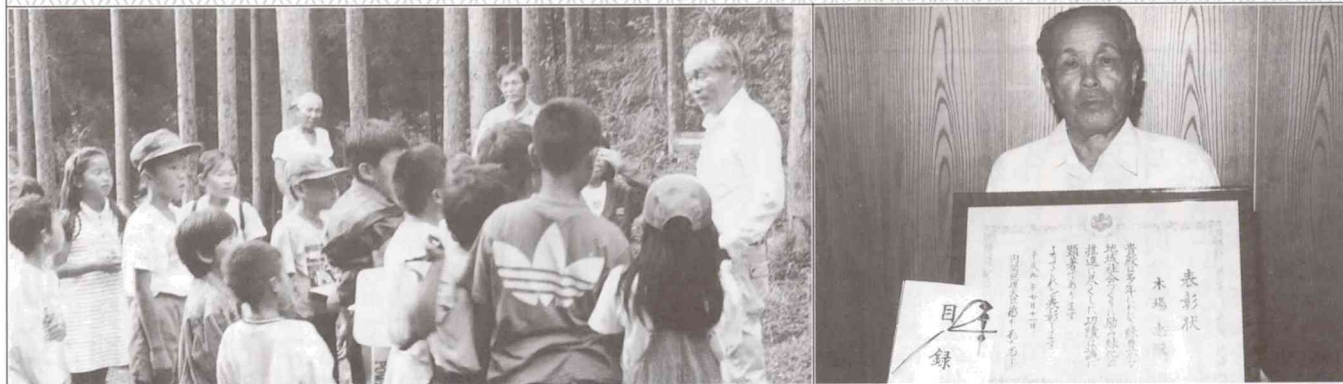


夏休み中の安全を願って



夏休みがやって来ました。田代町の花瀬公園のキャンプ場と流水プールは、オーブンの神事を十九日に行い水難事故等が起きないように、安全祈願をし、町長、助役列席のもと今夏の無事故を祈願した。又、プール監視員を対象に救急処置方法や人工呼吸など水難事故に対する安全講習会を行いプール監視員の志気を高めた。花瀬公園のプールは、本年度新たに色鮮やかなおしをしてお色なおしをして透明度がアップし美しくなっています。

木場忠さん 内閣総理大臣賞を受賞



平成9年度緑化推進運動功労者として、町内の木場忠さん(74才西中郡)が内閣総理大臣賞を受賞されました。

木場さんは、41年間の教職時代は、「愛林クラブ」や「学校林の創設」等に取り組み、児童らの緑化意識と愛林思想の高揚に貢献された。また、一年を通じ、県の緑化活動推進員や森林インストラクターとして、緑化・美化活動や森林体験学習活動等を通じ、子供達に自然と触れ合う楽しさを教えながら、緑化意識と愛林思想の高揚に努められている。

今回の受賞は、平成4年度の「新しい林業経営の確立(内閣総理大臣賞)」「国土緑化功労者、林業経営の部、(共に農林水産大臣賞)」に続く4度目の大臣表彰の受賞となります。

また、木場さんの山は、「少年の森こんちゅう村」、「老春の森」として開放されています。

7月20日は、麓地区の子供会を対象に朝6時からラジオ体操、虫採りを実施し、たいへん喜ばれていました。

‘97自然まるごと体験ツアーin田代町／始まる

自然の豊かさ、恵に
都会っ子 大喜び!

田代町が取り組んでいる都市と農村交流の一つ「自然まるごと体験ツアーin田代町」の本年度第一回目が、七月二十日(日)鹿兒島市内を中心に家族連れ四十六人の参加で四年目のスタートを切った。

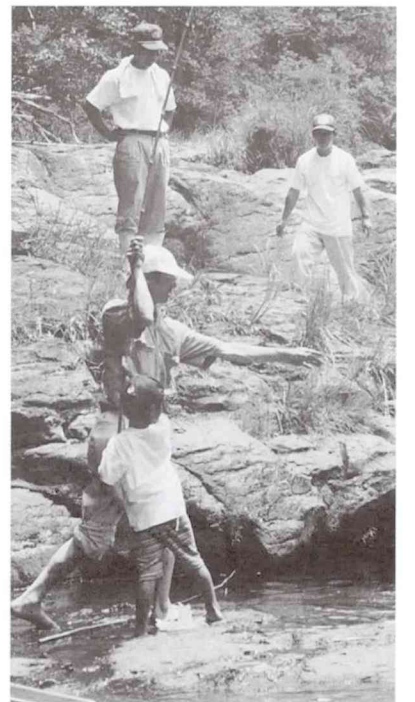
都会の多くの子供達を対象にしたこの企画は、田舎の自然の恵みや、自然のやさしさを知らない子供達に肌で体験して学びとってもらえるということ、毎年大好評を博している。



特製のカズラを用いてテープカット



カブト見つけた!



お父さん
ニジマス釣れたよ。

鴨池港からバスに乗り込んだ子供達は、最初の体験場「平原観光体験農園」で、落花生の生育等を学び、自ら収穫することで土と親しみ実りを喜ぶ。次の体験場「ニジマス釣りの溪谷(扇落としての滝)」では清流ほとばしる花瀬川で、ニジマスを釣り、水と親しむ。昼食を

法務省人権擁護局長感謝状受賞

竹之内 嫡 夫 委員



平成9年度県人権擁護委員連合会の総会に於いて、竹之内嫡夫さんが委員として

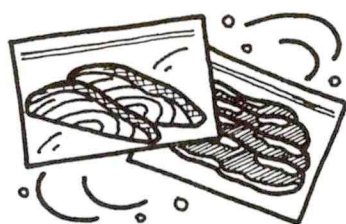
で、職務執行に精励し、地域住民の人権思想の普及高揚に尽くした功績が顕著であるとして、法務省人権擁護局長より感謝状が授与されました。同氏の今後の御活躍を祈念したいと思います。

はさんで待ちに待った最後の体験場「少年の森こんちゅう村」でカブト虫採りで山の恵と親しんだ。入口でのテープカットと同時に子供達はクヌギ林を駆け登り、一生懸命虫さがし、しかしながら、虫を見つけても触ってつかまようとしなかったり、棒でつついたり、一人で何匹もつかまえたりとそれぞれでありましたが目的のカブト虫を見つけた時の表情はとても満足そうでした。

●家庭でできる食中毒予防の6つのポイント

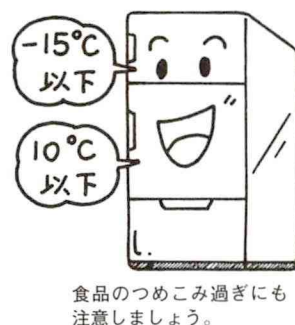
POINT.1 購入

- 買った食品を持ち帰るときには、肉や魚の水分が他の食品に付かないように、ビニール袋に分けて包む。



POINT.2 保存

- いたみやすい食品は、すぐに冷蔵庫・冷凍庫に入れる。冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は-15℃以下の温度に保つことが目安。



食品のつめこみ過ぎにも注意しましょう。

POINT.3 下準備

- 生の肉、魚、卵を取り扱う前後に、手・指を洗う。
- 肉や魚を切った包丁やまな板を洗わずに、生で食べる野菜や果物、調理済みの食品を切らない。



洗った後、熱湯をかけると消毒効果が上がります。

POINT.4 調理

- 加熱して調理する食品は十分に火を通す。中心部分が75℃で1分以上の加熱が必要。



POINT.5 食事

- 暖かい料理は65℃以上、冷やして食べる料理は10℃以下に保ち、早く食べる。室温で放置すると、例えばO157は15～20分で2倍に増えます。



POINT.6 残った食品

- 時間がたち過ぎた食品は、思い切って捨てる。



特集

0157を防ぐ

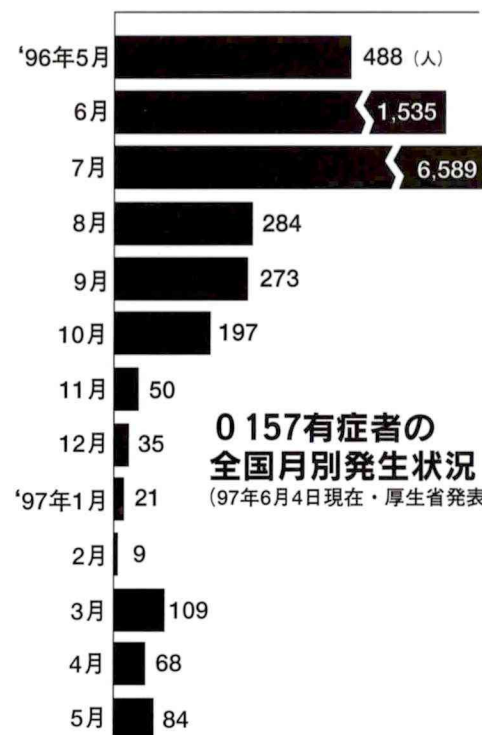
昨年、過去に例を見ない規模で全国に食中毒を発生させた病原性大腸菌O157。これまでにすべての都道府県で発生し、9,700人に上る感染者と13人の死亡者が報告されています。(平成9年5月末現在)。給食センターや飲食店などで厳しい予防体制が講じられる一方、一般家庭での食中毒発生が目立ってきています。

加熱しない食品はよく洗う。

「いつ、どこで食中毒が発生してもおかしくない」O157の汚染は、多くの専門家がそう警告するほどの全国的な広がりをみせています。

加熱する食品は

中心部まで十分に火を通す。



O157有症者の全国月別発生状況
(97年6月4日現在・厚生省発表)

定できたものもその種類は牛レバーから野菜サラダまで多岐に及んでいます。厚生省では、「広範な食品がO157感染の媒体になりうる」としながら、「特に熱を通さない食品の取扱いに注意が必要」と、呼び掛けています。ビニール包装してある野菜やカット野菜は調理前によく洗い、肉や魚は中心部まで十分に加熱して食べる必要があります。注意すべき食中毒菌は、O157だけではありません。昨年最も多く発生した

食中毒は、サルモネラ菌(肉・魚・卵が原因食品、加熱に弱い)によるもので、報告されているだけでも全国で千六百三十人の食中毒患者が出ています。気温や湿度が高く、食中毒菌が繁殖しやすいこの時期、食品の保存や調理の方法、台所や調理器具の衛生管理には十分注意する必要があります。食品を取り扱うときは、その前後に必ず手を洗いましょう。

瀬ノ口助役の海外レポート

大隅総合開発期成会「蘇州号」乗船研修
(上海・北京)に参加して

この度、大隅総合開発期成会による研修に参加して発展途上にある広大な中国(上海・北京)の混在する表と裏の実情を見聞した多くの中で、命の根幹をなす世界の食糧を左右する中国の食糧政策の一部の現状を紹介しよう。

12億人とも13億人ともいわれる中国、やはり気になるのが中国の穀物生産の動向が世界の穀物需給に大きな影響を与えていることは必至である。

中国の一人っ子政策は「口べらしと水」であるという。また世界の食糧をとりまく現状は、アジアの爆発的人口の増加と急激な経済成長による食肉化傾向の増加、その他環境問題など諸々の要因が山積している。ちなみに中国の穀物生産の統計(90年対95年)からみると食糧の105%の伸びに対し、食肉全体の伸びは170%と著しい伸びである。中でも肉類全体の85%を占める豚肉は160%の伸び、更に牛肉は325%で食肉の高

級化がすすんでいる。また、タマゴは90年に七百九十四万六千トン、95年には千六百七十五万九千トンで211%の伸びを示し、つまり、12億の人が1人当り年間132個から278個を食べていることになる。

肉類は豚換算にすると約6億1千万頭、1人当り枝肉(二頭70kg)で年間に約35kgを食べる計算になる。(日本は1人当り牛肉8kg、豚肉11.5kg、鶏肉10.5kg、計30kg、タマゴ330個)このように、中国は近年急速な食肉化がすすんでいることがわかる。

就中、食肉は家畜に穀物を多給することによって肉を生産する、2、5、8の原理というのがある。これは家畜を飼育するのにどれだけ穀物を必要とするかを計る係数、つまり出荷時の体重に対する穀物の消費量(中国語でリヤン、ウー、パーの原理)例えば、鶏は2.6kg×2.5=6.5kg、豚は10.0kg×5.5=55.0kg、

牛は600kg×8.4=5040kgを必要とする。即ち肉の生産は迂回生産といわれる所以である。

この食肉化がすすめば当然の事ながら、穀物の消費は増大することは明白である。これに

領収書や契約書と印紙税

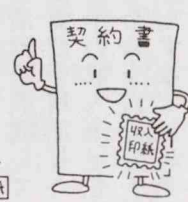
税金のおはなし

私たちは毎日の生活の中で、いろいろな文書を作成したり、受け取ったりしています。

このような文書の中には、印紙税がかかるものがあります。印紙税がかかる文書は、領収書や金銭借用証書、不動産売買契約書のほかに、請負契約書、手形、金銭の受取通帳などがあり、これらは二十種類に分類されています。

間違いない例として、①レジスターから打ち出されるレシート、後で正式な領収書を発行する場合の仮領収書などは金銭等を受け取った事実を証明する受取書になり、②契約の成立や変更を証明するために作られる覚書、念書、差入書などは印紙税法上の契約書になりますから注意してください。

印紙税は、印紙税のかかる文書を作成した人が、定めら



身近なイベント 高山町

スカイフェスタ

in
KOYAMA

10月25日・26日開催



※今年のスカイフェスタは、県・鹿屋市主催の「生涯スポーツ&レジャーフェスティバルinかごしま '97」のスカイスポーツ部門を兼ねています。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

お知らせ

登記相談所の開設

日時 九月五日(金曜日)
午前十時～午後三時
場所 役場大会議室

「行方不明者」の開設

さがす相談所

○家出や出稼ぎに出たまま行方不明の方御相談下さい。
○秘密は固く守ります。
○相談は無料です。

期間 八月中
相談先 大根占警察署
生活安全刑事課②〇一一〇

「障害者合同就職選考会」のご案内

日時 九月二十五日(木)
午後一時から
場所 鹿屋商工会議所
鹿屋市新川町六〇〇
連絡先 ハローワーク鹿屋
TEL〇九九四一四二四三三

技術講習会受講生募集

(ホームヘルパー2級)

一、応募資格
再就職を希望する女性で、講習の全日程を受講できる人

二、受講料 無料
三、期間 二十六日間
九月十七日～十月三十一日
四、申込期間
九月一日(月)～三日(水)
五、時間 九時半～三時半
六、受講場所・連絡先
鹿児島県女性就業援助センター
鹿児島市名山町九番一号
TEL〇九九一三六二七二八

「後期技能検定試験」の実施

一、受験申請書受付期間
九月二十九日(月)
十月三十一日(金)
二、試験実施日
十二月八日(日)
十月二十一日(日)
(職種ごとに定める日)
三、実施職種
建築大工、建築配管、和裁等
四、問い合わせ先
鹿児島県職業能力開発協会
技能検定課 TEL〇九九一三六二三四〇
鹿児島市住吉町15、11県住吉ビル

平成9年度高圧ガス
国家試験のお知らせ

○試験日 11月9日(日)
○願書配布 7月22日から
○願書受付期間 8月25日から
9月5日
○試験の種類 乙種化学、

ALIT(英語指導助手)に
ソフィー・ジェインさん再任



四代目ALITのソフィー・ジェインさんは、一年間の任期を終了されましたが、本人の希望もあり引き続きALITとして田代町で英語を教えることになりました。

スポーツ好きで、何にでもチャレンジする明るいソフィーを見かけたら、遠慮なく気軽に声をかけてください。(再任期間・平成九年七月二十九日～平成十年七月二十八日)

田代町社会福祉協議会

「篤志寄附金」

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され社会福祉協議会へ多額の寄附を賜りました。

厚くお礼申し上げますと共に御冥福をお祈りします。

水枝谷 良 弘様
園田 ミチ様

全国コンクール

10月18日の「統計の日」にちなんで、「統計グラフ全国コンクール」が実施されます。今年で45回を迎えます。入賞区分は、特選・入選等で特選作品の中から総務庁長官特別賞および文部大臣奨励賞が1点ずつ選ばれます。表彰は、平成9年11月12日愛知県名古屋市で開催される「48回全国統計大会」において行われます。応募方法、締め切り日など詳しい内容のお問い合わせは、都道府県の統計協会、または、(財)全国統計協会連合会(TEL 03-3982-2841)までお願いします。

乙種機械、丙種化学(液石・特別)、第二種・第三種冷凍機械、第一種・第二種販売、液化石油ガス設備士

○試験会場 鹿児島経済大学、県大島支庁、他

○その他 詳細については高圧ガス保安協会鹿児島県試験事務所(TEL 099-250-2535)、又は鹿児島県消防防災課(TEL 099-286-2262)へお問い合わせください。

平成9年7月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月
		出生	転入	死亡	転出	対比
男	1,769	2	7	2	3	4
女	1,939	1	4	2	1	2
計	3,708	3	11	4	4	6
世帯数	1,416					△1

人口のうごき

休日在宅当番医

月 日	当 番 医	TEL
8/17	阿久根 医院	4-2100
8/24	黒木内科小児科	6-0750
8/31	長 浜 医 院	2-0137
9/7	じょうさいクリニック	4-2977
9/14	浜畑クリニック	5-2575

国の教育ローン(国民金融公庫)を御利用下さい。

・返済期間8年以内
・利率2・7%
・詳しくは国民金融公庫 鹿屋支店 TEL〇九九四一四二一五二四一

項 目	計 画
原木仕入量 ^m	18,500
製品販売量 ^m	12,000
チップ販売量 ^t	2,600
収 入(千円)	491,920
支 出(%)	490,420

等に取り組み、収支均衡に向けて努力してまいります。

(2)主要事業量等の計画は次のとおりです。

定されました。

なお、当センター創業から経営にいたるまで献身的に御尽力された黒木信一社長が勇退され、後任に税所篤朗根占町長が就任されました。

これからも役員一同、力を合わせて林業・林産業の活性化、地域経済発展に寄与してまいりますので、なお一層の御指導、御支援をいただきますよう御願ひ申し上げます。

末文ではございますが、皆様の御健勝を心から祈念いたします。

敬 白

(株)南大隅国産材加工センター便り

謹啓

盛夏の候、町民の皆様方にはいかがが御過ごしでしょうか御伺い申し上げます。

さて、当センターも御陰様で創業以来満6年を経過いたしました。

この間、町民の皆様をはじめ、関係各機関からご指導とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

以下、本紙の御協力をいただきまして、事業概要等を御報告させていただきます。

1、平成8年度事業について

(1)年度前半は、市況低迷で収入が予定どおり上らず、苦しい状況でしたが、注文品を主力にいたった製品づくりなど、有利販売活動を展開していく中で製品需要が増加したこと、から、前半の収入不足を取り戻し、七百八十六万五千円の利益を計上することができました。

(2)主要事業量等の実績は次のとおりです。

項 目	計 画	実 績	達成率
原木仕入量 ^m	18,500	21,981	119%
製品販売量 ^m	12,000	12,761	106%
チップ販売量 ^t	2,720	2,650	98%
収 入(千円)	472,300	567,300	120%
支 出(%)	472,200	559,435	
差引損益(%)	100	7,865	

2、平成9年度事業について

(1)2月に入ってから製品需要、価格ともに落ち込みはじめ現在もなお市況回復の兆がみえないという極めて苦しい状況にあります。

①原木の安定的集荷
②販売努力による収入の増
③経費節減

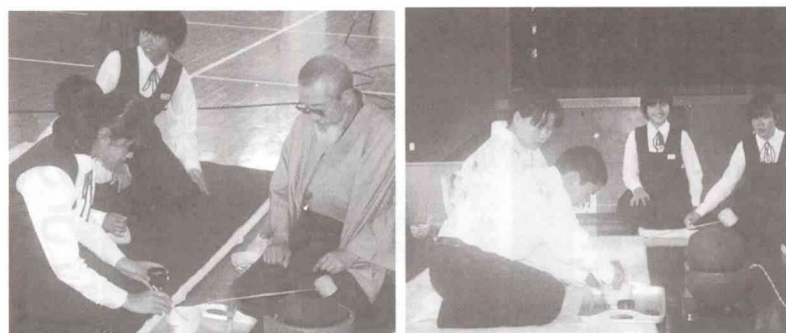
学校だより

大原中学校

今年度は、研修テーマに沿った様々な交流活動が行われていきます。活動を通して、子ども達は、心身共に大きく成長しています。

「お茶会」

清田教諭のご両親を招き「お茶」という自国の文化の作法を学びました。



全員実際にお茶をたてました

「宿泊学習」 アジア・太平洋 農村研修センター

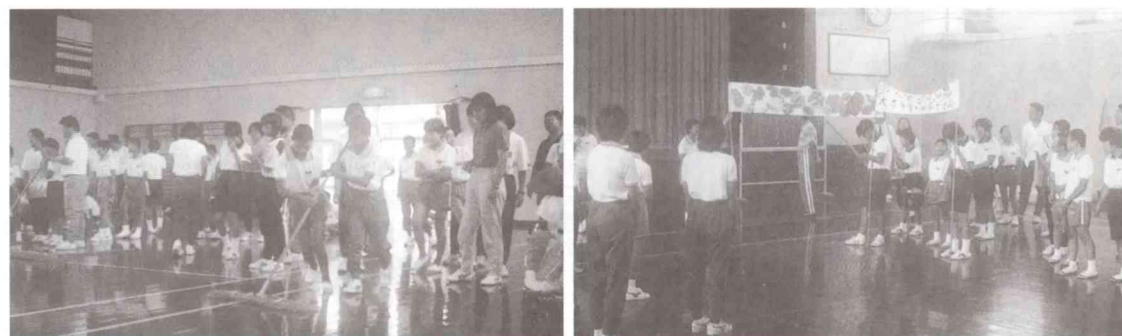
初めての試みとして、当研修センターで研修をされている八ヶ国の方々とレクリエーション等で楽しく過ごしました。



身振り手振りでコミュニケーション

「養護学校との交流」

同世代の友達と心を通わせ、手紙の交流もしています。秋にはニジマス釣りも計画中です。



一緒にゲーム

手造りの歓迎に感激！

町図画作品審査会

7月16日、東申良中の野勝彌校長先生を講師に迎え、町図画審査会が行われました。その結果、次の20名の作品が町代表として地区審査に出品されました。



7名の先生方による熱心な審査

ワークキャンプ



食事の世話も上手に！

7月22日から、特別養護老人ホーム「南松園」で一泊二日のワークキャンプが行われました。

今年は、町内の小中学生30名が参加しました。食事の介助や園の掃除などお年寄りとのふれあいを通して思いやりの心について体験を通して学ぶとともに福祉の仕事に対する理解を深めることができました。



氷袋の使い方も知りました

肝属地区社会教育行事

田代町で相次いで開催

地区社会教育委員研修会



事例発表をされる竹之内委員長と司会者の右田校長

地区高齢者教育指導者研修会

7月24日、肝属地区内の高齢者学級生など約160名が参加して開催されました。本町教育委員長の林正美先生の講話や歯科衛生士会の皆さんによる寸劇など、バラエティに富んだ内容で、高齢期における生きがいや健康について学ぶことのできた充実した研修会でした。



参加者がじっくり聞き入った林先生の講話



歯科衛生士の皆さんによる楽しい寸劇

青少年団体のよき指導者をめざして

7月17日、役場3階会議室において青少年団体育成指導者前期研修会が開催され、集落子ども会育成委員会と高校生学生会父母連絡協議会会員の皆さん、合計約60名が参加しました。

まず、研修として、南部消防署の方を講師に迎え、水難救助法について学習しました。夏休みを目前に控え、万が一の水難事故に備えての訓練ということで、参加者の皆さんは真剣に取り組みました。

その後、分科会に分かれ夏休み中の行事について話し合いがなされました。



まず、説明をしっかりと聞いて

元気はつらつ親子球技大会

7月26日に、中央公民館など3会場で、男女ともにミニバレーボールを行いました。今年から地区対抗となり、より熱のこもったプレーが繰り広げられました。



熱のこもった男子決勝戦



女子の部優勝の麓Bチームの皆さん

主な成績		優勝	準優勝
男子	上野 B	大原 A	
女子	麓 B	大原 A	

全国高校総体出場

8月1日から10日にかけて京都で開催された全国高校総体に、本町より次の7名の高校生が出場し、全国の優れた選手を相手に、力と技を競い合いました。この経験を糧として、ますますの飛躍が期待されます。

競技	高校名	氏名	集落
漕艇	鹿屋	横原栄作	中尾
レスリング	中央	堀分隆仁	新田
ソフトボール	鹿屋農	安楽伸也	上原
剣道	神村学園	上東美輪	山ノ口
	神村学園	白桃美和	鳥淵
自転車	南大隅	堀内美成	平石
	南大隅	上吹越直樹	上柴立

平成9年度町花だんコンクール参加者募集

田代町では、「一大家族一プランター推進事業」を展開中です。その成果を試すため、多くの学校、集落、子ども会等の参加をお願いします。

- 1 参加申込み
9月上旬に地区公民館へ申し込んでください。
- 2 審査期日
9月下旬

快拳！堂々の総合第3位入賞

第35回郡民体育大会後期大会 ～熱闘の軌跡～



田代小リードバンドの演奏による入場行進



町の名誉をかけて力走！（陸上会場）

7月13日、郡民体育大会後期大会が町内を会場として開催されました。後期大会は、陸上競技、柔道、剣道など8種目で争われました。夏の日ざしが照りつける中、どの競技のどの選手もすばらしい熱戦を展開し、見事に堂々、総合第3位というかつてない快拳を成し遂げました。

これは、花いっぱい運動に真剣に取り組んでいただいた小組合を初めとして、手づくり看板作成や運営に協力をいただいた各社会教育団体、そして選手育成に取り組んだ各競技部のすべての力を結集した、まさに町民総参加による大会への取り組みの賜物といえます。小さな町でも、「やればできる」ことを実証した郡民体育大会でした。田代が熱く燃えた一日でした。



田代町選手団堂々の入場行進



力強い選手宣誓 陸上 山下知幸選手



相手を押さえこみ、余裕の加治屋選手（柔道会場）

後期大会主な成績	陸上競技	第2位
	女子卓球	第2位
	柔道	第2位
	女子ソフトテニス	第3位
	弓道	第3位
	相撲	第3位
	剣道	第3位



バトンを持つ手に気合いをこめて！（陸上会場）



気合いのこもる立ち合い！（相撲会場）



矢に全神経を集中して（弓道会場）



相手の動きをじっくり見て！（剣道会場）



チームの勝利に思わず笑顔がこぼれる（卓球会場）



さあ、どこからでも打ってこい！（女子ソフトテニス会場）



試合前に作戦を立てて（ゲートボール会場）